

平成26年9月17日

日吉台コミュニティ基金管理委員会 議事録

作成：渡辺 まり

確認：委員長 近原秀明

日時：平成26年9月16日（火）19：30～21：00

場所：市民センター第2会議室

出席者：近原、呉屋、山下、山田、達脇、吉田、渡辺（欠席 柳沢、仲西、角田）

（敬称略、順不同）

議題と議事結論

資料2点（1）議題、トランシーバー関連資料、（2）（1）関連衛藤会長作成追加資料

① トランシーバー助成申請につき協議

自治連会長及び学区防災会長連名での申請書類及び追加資料を基に協議、次の結論を得た。次の条件で助成することを自治連、学区防災会に伝えることとなった。

- （1） 購入予定機器にて、実際に学区全域で使えるのかテストすること。
- （2） 機器の取り扱い規定類（取り扱う情報内容、機器配備の詳細、機器取扱い訓練、機器メンテ等）を遅くとも平成27年2月までに定めること。
- （3） 既に検討を進めておられると考えているが、各丁内、又は学区全体で危機の際にその内容を住人全員に伝えるツール（例えば拡声器、各家への防災連絡装置 ⇨大津市との協議必要（？）等）の検討と周知を図って頂きたい。

尚、助成は今年度の助成残金24万円、来期に計画の助成予算の内13万円で行いたい。

② 10年物国債の扱い対処

来年6月及び再来年9月に償還日を迎える、基金が所有する2件の10年物国債につきその対処方法を協議した。次の結論を得た。

- （1） 国債購入継続を止め、銀行定期預金で運用することを提案する。
基金の有効利用を早期に進めるため、及び安全性の観点から提案する。
- （2） 今後は助成金額を削減、普通預金（現在残高177万円）がゼロになれば助成を停止する。国債→定期預金で利金の大幅減少（年間35万円→6千円）今後どのような助成案件があるのか情報を集める。
- （3） 安全性を考慮して、現在滋賀銀行1社だが、後2社を加え計3社に基金財産を分割預入することを検討する。

対象国債

- （1） 額面 21,000,000円 10年物国債 償還日：平成27年6月20日
- （2） 額面 10,000,000円 10年物国債 償還日：平成28年9月20日

以上